



## 「アルコールチェック義務化」

4月1日より社用車5台以上、定員11名以上の車両なら1台以上を保有する事業所(安全運転管理者選任事業所)では、運転者の酒気帯びチェックが義務化されます。

4月1日からは酒気帯びの有無について、目視等で確認して、記録を1年間保存しなければなりません。10月1日からはアルコール検知器を用いて確認を行い、その記録を1年間保存し、アルコール検知器を常時正常に作動し故障が無い状態で保持しなければなりません。

このアルコール検知器には多くの種類があり、ハンディータイプで息を吹きかける物からパソコンと接続してデータを管理できる製品や、スマホと接続できる物も有ります。価格は数千円から数万円など様々です。

アルコールを検知するセンサーも、半導体式や電気化学式、燃料電池式など数種類有ります。センサーには寿命があり、1~2年で1,000回~5,000回測定 of 製品が多いようです。安価な製品は本体ごと買替になり、価格が上がるとセンサーのみ交換するタイプが有ります。

10月からはアルコール検知器が必要になりますので、早目のご用意をおすすめします。



センサー交換タイプ



社外からは携帯を利用



安価な製品が有ります

< 営業部 : 岡田 >

## 「残念ながら、2年連続の開催中止です。」

毎年11月に札幌ドームで行われていました「赤い羽根全国ティーボール大会」は、2020年11月はコロナの影響で、早々と中止となってしまいました。

その後、2回のワクチン接種・感染の減少から、2021年11月の開催予定を、2022年2月へ延期し、参加チームも例年より少なくしての開催準備に入っていました。事務局では12月末には関係機関への協賛・協力の文書の発送準備も整っていましたが、2022年年明けからのコロナ感染の急激な多さから、2月開催を諦めることとなってしまいました。

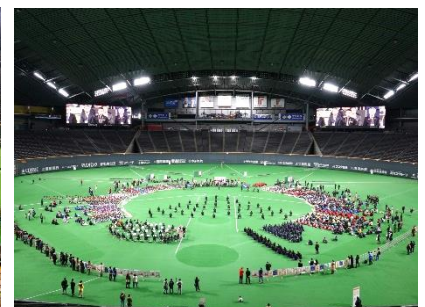
毎年、カミノからもボランティア参加させていただいていましたので、大変残念な思いもありますが、事務局の方々は、今年11月に第28回大会の開催準備に入っています。



2013年の様子



2017年の様子



2019年の様子

開催を祈念して皆さまにもこの大会を知っていただけたら、と思ひまして、この記事を書かせていただきました。

< 営業部 : 後藤 >

## 「コロナに負けない日々!!」

もう2年を過ぎたコロナ感染、第6波とも第7波とも研究者でも意見の違いの有るところです。まずは手洗い・うがい等の徹底をして毎日を過ごすしか有りません。

そんな中で当社が取り扱っている『空気循環式紫外線清浄機 AIRLIA (エアリア)』という感染対策にも高い有効性があることが確認された機械があります。

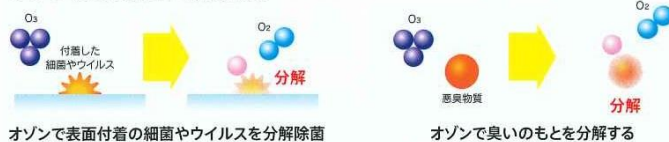
### ■オゾンの効果

- オゾンの強い酸化力による、除菌・消臭
- 空気中の酸素からオゾンを生成
- オゾンは反応後、酸素に戻るため薬剤のような残留性がありません

#### オゾンの生成と分解



#### オゾンによる除菌・消臭効果



## 当社の紫外線(UV)ランプによる新型コロナウイルス不活化の有効性を確認

岩崎電気株式会社では、当社の製品に搭載する紫外線(UV)ランプの新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)の不活化効果について、広島大学病院 感染症科 大毛宏喜教授、広島大学大学院医系科学研究科 ウィルス学研究室 坂口剛正教授と共同で評価試験を行った結果、高い有効性があることが確認されました。



### 設置目安

60分稼働で  
(天井高:約2.5m想定)

約16畳  
(120分稼働で約33畳)

### 処理能力(60分当たり)

約66m<sup>3</sup>

コンパクトタイプの空気循環式紫外線清浄機です。

移動しやすい床置きタイプと、床面がスッキリする天井直付タイプの2タイプ。

- 病院・介護施設 など
- 食品工場、レストラン など
- 学校、各種教室、事務室 など
- ホテルなどの宿泊施設 など
- 会議室、集会所、学習所、スポーツクラブなど
- 電子工場(クリーンルーム) など

エアリア コンパクトを  
動画で紹介(約6分)



紫外線とオゾンで、室内の空気をW除菌。効果・特徴としては上記のとおりです。自社事務所にも設置をして、手洗い・うがい・除菌と対策をしております。

デモ機もございます。短期貸出も対応しておりますので当社営業の方にも一声おこえがけして頂ければと思います。

誰がいつ感染するやもしれない時期となってきました。それぞれの皆様が日々健康でお過ごしになれる事を末筆ながらお祈り申し上げます。

< 副社長 : 松尾 >

新千歳空港が観測史上初1メートル超えの積雪で全便欠航、JRも終日運転を見合わせただけ、雪の重みで商業施設やバス停の屋根が崩落したり、除排雪が追い付かず、いたる所で大渋滞…。記録的な大雪で大変だった2月。もう雪はいらない!早く春になって欲しいですね!! (切実)



発行元 : (株) カミノ  
TEL : 0123-23-4255 / FAX : 0123-24-1381  
E-mail : kamino@kamino.co.jp  
ホームページ : <http://kamino.co.jp/>  
(カミノトピックスのバックナンバーもご覧いただけます)